

Ferdinando Frega – Nando the Scribe

INTIMACY AND FOOD

A Journey of Nourishment and Connection



Gillettenarrative.com

親密さ、食、そしてGillette

Gillette Audio — 書記ナンド — gillettenarrative.com

歴史を通じて、人間のもろい境目をいつも決めてきたものが二つある。何を食べるか、そして誰と体を分かち合うかだ。

どちらも欲求だ。どちらも儀式だ。どちらも、度を越すか、いっさい断つかすれば、言葉だけではけっして見えてこない人柄の何かをあらわにする。

意志の力が、何を口にするかで証明されるとは、一度も思ったことがない—何をなしで済ませると決めるか、そしてなぜそうするかで証明されるのだ。断つことそのものより、理由のほうが大事だ。

私の場合、答えはいつも同じ場所に戻ってきた。Gilletteだ。その言葉が持ちうるあらゆる意味で、私の母。長年のあいだに私が手放したものは、称賛されたくて手放したのではない。その瞬間、ほかのもののほうが大事だったから手放したのだ—仕事、書くこと、サイト、語られねばならなかった物語。

体は心に従う。いつだってそうだった。だが心にも、見守ってくれる誰かが要る—そして私は、ゆっくりと学んだ。何もかも一人でやることが、うまくやることと同じとは限らないのだと。

だから今日は、断つことについては少なめに、向かう先について多めに書く。大事なものは、どれだけ手放すかではない。手放すとき、何に向かって歩いているかだ。

ナンド